

11 ミュージアムに関する事項

龍谷ミュージアム(以下、「ミュージアム」という)は、2011年度の開館以来、本学の教育・研究施設として各種の諸事業を展開している。教育事業では、全学必修科目「仏教の思想」や博物館学芸員課程科目等の正課授業において、多くの学生がミュージアムを活用した講義や実習を受けている。研究事業では、学芸員及び研究プロジェクトの研究成果を、展覧会の実施や展示図録の刊行、講演会の開催等、様々な形で社会に発信している。展覧会事業では、年間を通じた展覧会の企画・運営を本格的に開始し、マスコミにも広く取り上げられ高い評価を得ており、開館2年目である2012年度には、春と秋の特別展、企画展及び平常展を開催し約6万人の来館者が訪れた。

また、展示や図書・図録等の発行、ミュージアム教員による展示解説講義を含め、学内における教育活用や学外への教育普及活動等により、ミュージアムにおける研究の成果を広く発信した。

1 教育活動について

●必修科目「仏教の思想」での活用

全学必修科目「仏教の思想A」、「仏教の思想B」において展示解説講義とミュージアム観覧をセットにした講義を実施し、合計120コマ(7,707名)の学生が受講した。

●博物館学芸員課程との連携

博物館学芸員課程の担当教員と連携し、各科目でのミュージアム利用に加え、博物館実習における館園実習生を受け入れ、ミュージアム教員による実務体験を交えた指導がおこなわれた。

●各学部・研究科における正課講義での活用

ミュージアム101講義室における恒常的または臨時的な講義利用を推進するとともに、ミュージアムの展示資料を活用した授業を実施した。(恒常的講義利用：7科目/臨時的講義利用：20科目)

●学外に対する教育普及活動の推進

他大学の学生や、中学・高校の生徒による学校外学習の受け入れをおこなった。また、RECをはじめとした学内外の機関と連携し、社会人を対象にミュージアムの観覧を組み込んだ講座を開催する等、学外に対する教育普及活動も積極的に展開した。

2 研究・調査活動について

●研究プロジェクトの活動推進

ミュージアムにおける調査・研究を促進するため、①「釈尊とアジアの仏教」、②「親鸞と日本の仏教」、③「常設展示のための展覧手法の研究」の3研究プロジェクトが活動を展開した。その研究成果は、随時、展覧会や図録等を通

して広く社会に公開した。

●所蔵資料や借用資料等の調査・研究活動

展覧会の開催にあわせ、所蔵資料や借用資料を中心に、調査・研究を継続的におこなった。その成果については、展示解説や図録等で公開したほか、所蔵者や関係機関へ調査報告書として提出した。

●講演会・学会・シンポジウムの開催

ミュージアムにおける研究成果を広く社会に発信する場として、展覧会開催中に特別講演会やギャラリートーク等を開催した。また、学内外の研究機関と共同で主催し、国際シンポジウム「シルクロードの仏教美術」や「スタインコレクション、ペリオコレクション、大谷コレクションの調査研究報告会」等を開催した。

●他機関や寺社等からの依頼による調査・研究

他の博物館や研究機関、全国の寺社等からの依頼に応じ、所蔵資料等に対する調査・研究等をおこなった。研究成果はその機関や寺社等を通じて社会に還元されると同時に、ミュージアムにおいても展覧会等を通じて公開した。

3 平常展・特別展・企画展について

●平常展「仏教の思想と文化」の開催

ミュージアムのコンセプトである「仏教の誕生と広がり」をわかりやすく紹介する平常展「仏教の思想と文化」を「アジアの仏教」(2階展示室)、「日本の仏教」(3階展示室)という構成で開催した。また、学内の研究成果を公開する特集展示「混一疆理歴代国都之図と古地図展」と、西本願寺で新たに発見された資料公開を平常展第Ⅱ期と併設し、より魅力ある展示に努めた。

●特別展「仏教の来た道—シルクロード探検の旅」、「絵解き”ってなあに?—語り継がれる仏教絵画—」の開催
春季特別展「仏教の来た道—シルクロード探検の旅」、秋季特別展「“絵解き”ってなあに?—語り継がれる仏教絵画—」を開催した。関連する図録の発行、講演会、絵解き実演等をおこない、広く社会に向けて研究成果を発信した。

●企画展「良如宗主と龍谷大学の歩み」、「若狭・多田寺の名宝」の開催

企画展「良如宗主と龍谷大学の歩み」、「若狭・多田寺の名宝」を開催した。関連する図録の発行、講演会等をおこない、学内外から注目を集めた。また、龍谷大学の歴史を紹介するコーナー展示を設けるとともに、冊子『龍谷大学の歩み』を作成・配布し、新入生を中心とした本学学生対象の自校史教育に資する活動を展開した。

4 地域での諸活動について

●地域団体が主催する各種行事への参画

ミュージアムの立地している植柳学区の住民有志で組織する「植柳まちづくりプロジェクトチーム」主催行事へ参画し、住民目線の門前町活性化事業に取り組んだ。「門前町まちかどコンサート」をミュージアムエントランスにて開催し、本学学友会学術文化局マンドリン・オーケストラ

の学生による演奏をおこなった。また、毎月16日にはフリーマーケット「いちろく市」がミュージアム周辺で開催され、ミュージアムの知名度向上にも役立っている。

●「京都市下京区活性化検討委員会」への参画

京都市下京区主催の「下京区活性化検討委員会」メンバーとして、下京区内にある諸施設と連携し、地域の活性化方策を検討した。